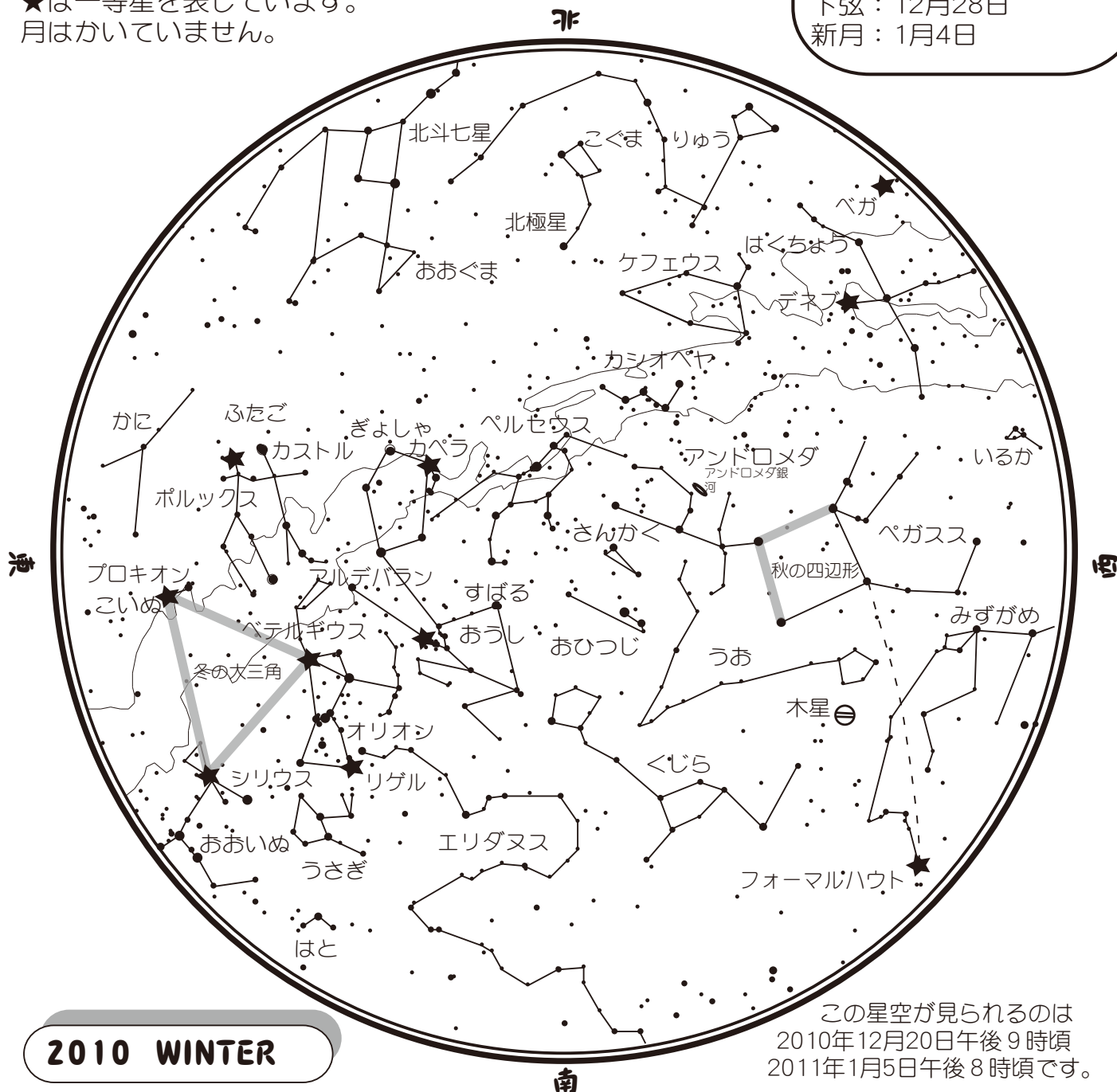


★ 姫路で見る12月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

満月：12月21日(皆既月食)
下弦：12月28日
新月：1月4日



2010 WINTER

この星空が見られるのは
2010年12月20日午後9時頃
2011年1月5日午後8時頃です。

西の空へ飛んでいくペガサス座の胴体は「秋の四辺形」です。そして東の空に見られるオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結んでできるのが「冬の大三角」です。わかりやすい星並びを目印に、他の星座も探してみましょう。

南西の空でひときわ明るく輝いているのは、太陽系最大の惑星「木星」です。12年で太陽の周りを回る木星は、しばらくは秋の星座であるうお座の近くで輝きます。そして来年の2月下旬から3月上旬にはくじら座へ、その後はうお座にもどって、6月上旬からはおひつじ座へと星座の中をうろろと移動していきます。

星座の移り変わりを感じたり、木星の動きにも注目をしながら、星空を眺めて見ましょう。

21日の夕方には、月が昇ってくるころに皆既月食が見られます。地球の影に入った状態で月が地平線からのぼり、月が地球の影から出て行く時には欠けて見えます。この日の16:50ごろ東の地平線から姿を見せる、ふしぎな月に注目してみましょう。